




令和4年度 桃陵中学校 教育目標

【校訓】「今を大切にし 自ら努め 力を合わせ やりぬく」を指針とし、常にその具現化をめざす。

今を大切にするのは生きる原点で、人生は今の連続である。今を大切にしながら自分を成長させる。また、自分を大切にすることから、今を大切にすることが始まる。 <初代校長 水野茂夫 先生>

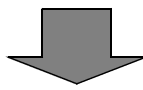
【めざす生徒像】 「自ら努め 力を合わせ やりぬく」生徒

【自ら努め】 知性・感性が豊かで自立した人間の育成 	【力を合わせ】 友情に厚く思いやりのある人間の育成 	【やりぬく】 意志が強く責任感のある人間の育成 
・自ら学ぶ力を持ち、広い視野から物事を考える生徒	・尊敬の心を持ち、他と力を合わせ共に生きる生徒	・愛校心や郷土愛を持ち社会的義務や責任を果たす生徒

「礎」

【経営方針】

ア 生徒と教師、生徒同士の信頼を深め、 <u>温かい心が通い合う学校づくり</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の違いを認め、励まし合って目標を達成できる生徒の育成に努める。 ○ 信頼と愛情を基盤として、人と人が関わり合うことを大切に活動を展開する。 ○ 生徒理解と教育相談の充実を図り、生徒の自己肯定感の高揚に努める。 ○ 心の教育を推進し、感動する心や自らを律する心、他を思いやる心を育てる。
イ 学ぶ喜び・やり遂げる満足感を基盤に、 <u>生徒と教師が学び続ける学校づくり</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビジョンやゴールを示して、主体的に取り組む活動を、すべての教育活動で推進する。 ○ 「学び合う学び」を基盤とした授業を推進するとともに、ICT機器の特性を活かして、協働的な学びと個別最適な学びの一体的な充実を図る。 ○ 生徒に健康や安全に関する正しい知識を習得させ、健康で安全な生活を送るための実践的な判断力や行動選択能力を育成する。 ○ 教師の同僚性を構築するとともに、生徒が自ら学びを獲得できるための指導のあり方を研究する。 ○ 「部活動検討委員会」や「多忙化解消検討委員会」を核として、業務改善を図り、質の高い教育活動のあり方を検討する。
ウ 保護者・地域との連携を深め、 <u>家庭・地域とともにある学校づくり</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校区における学びのセンター的機能の役割を果たすために、保護者や地域との連携・協働体制を確立する。 ○ 持続可能で多様性と包摂性のある地域社会の実現のために、地域の方々とのふれあいや学びの機会を通して、次世代の社会の担い手を育成する。 ○ 学校評価をもとに、学校運営の評価・改善を行い、地域に根ざした共有活動を展開する。



【本年度の重点目標】

「考え(思考) 判断し 行動(表現)できる」生徒の育成

【具体的な重点方策】

温かい心が通い合う学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級や学年での関わりを基盤として、自他の存在を大切にできる豊かな心を育む。 ○ 共感的な人間関係のもとに、生徒が自己決定する場を設け、自己指導能力の育成を図る。 ○ 「心」「コミュニケーション」「命」に関する講演会を行い、自尊感情や自己肯定感の高揚を図る。 ○ 教育相談の機会や学校生活アンケート、Q-U 検査等を通して、教師が個々の生徒理解に努める。
生徒と教師が学び続ける学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び合う学び」の授業づくりを推進するとともに、教科における基礎基本の定着を図る。 ○ ICT 機器の特性を活かした授業のあり方や、教育活動全般における ICT 機器の活用を模索する。 ○ 「職員から学ぶ」機会を設け、職員の同僚性を構築する。 ○ 今日的な教育課題の解決のために、外部講師を招聘し教師が研鑽する機会を設ける。
家庭・地域とともにある学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会と協働するとともに、PTAや校区青少年健全育成会と連携した教育活動を展開する。 ○ 地域協議会やまちづくりの会との懇談等を通して、課題を自分事として捉え行動できる実践力を養う。 ○ 情報公開をすすめ、学校ホームページや学校新聞、PTA新聞等で情報を発信する。